



日本での一年目



国籍	ベトナム
職種	自動車整備
実習実施者	函館トヨペット株式会社
監理団体	全国中小事業協同組合

レー デイン チュン
LE DINH TRUNG

25歳で踏み入れた日本という国。成田空港に降り立った時、初めて見る漢字や聞き慣れない言葉に圧倒され、言葉を失いました。右も左も分からない異国での生活は、私にとって未知の道を切り開く挑戦であり、胸には熱い情熱が燃えています。毎日、昨日よりも今日、少しでも成長したいと強く願い、日本語の習得を大きな目標に掲げています。

2024年5月、私の日本での生活が始まりました。初めて触れる日本の法律や仕事の専門用語、そして細やかな言葉遣い。それと同時に迫る日本語能力試験N3の壁は、想像以上のプレッシャーでした。母国語のベトナム語と違い、日本語には、ひらがな・カタカナ・漢字など覚えることが山のようにあり、「もう無理かもしれない」と何度も心が折れかけました。しかし会社の先生や組合の先生の「チュンさんならできる！一緒に頑張りましょう！」という温かい励ましは、私の背中を力強く押し、再び立ち上がる勇気をくれました。

私の先生達は、仕事の後や休みの日にも日本語を教えてくださいました。また、私が楽しく取り組めるように工夫して、オリジナルの宿題を

作ってくれました。先生達のおかげで、最初は全く聞き取れなかった言葉が、徐々に耳に入ってくるようになりました。通訳なしで、先生達と日常会話ができるようになった時の喜びは、今でも鮮明に心に残っています。

そして迎えた12月のN3試験当日。私はこれまでの努力を全て出し切りました。合格の知らせを受けた時、努力が報われた喜びと、支えてくれた全ての人への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。どんな小さな一歩でも、毎日必ず前進しようと心に決めています。仕事で疲れて帰った後でも、日本語の勉強をこれからも欠かしません。昼食後の休憩時間には、自分で作った漢字の単語帳を見て勉強していると、同僚や先生方が集まってきて、言葉のニュアンスを教えてくれたり、間違いを直してくれたりします。言葉の壁を越えて生まれる温かい交流は、私にとってかけがえのない時間です。会社、組合の先生達との食事会は、いつも笑顔と温かい会話で溢れています。ベトナムの家族と離れて暮らす私にとって、先生達は第二の家族のような存在です。この素晴らしい環境に出会えた私は、とても幸運だと感じています。

この恵まれた環境に感謝し、これからもより一層、努力を重ねていきたいと思っています。今日まで私を支え、導いてくださった先生達への感謝の気持ちを胸に、何事にも全力で取り組み、いつか必ず恩返しができるよう、日々精進していくことを誓います。

日本で共に頑張る全ての仲間たちへ。困難なこともあるけれど、私たちは決して一人ではありません。互いに支え合い、励まし合いながら、これからも一緒に夢に向かって頑張りましょう！